

Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし

平成26年6月1日 ▶ 平成27年5月31日

第70期

報告書

株主の皆様へ

経営の概況	01
特集：新中期経営計画について	03
セグメント別の概況	05

TOPICS	11
連結財務諸表	13
会社概要／株式情報	14

 三協立山株式会社

証券コード 5932



代表取締役社長
山下 清胤

当期の経営環境と営業概況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減や物価上昇による実質所得の減少などから、前半は個人消費や住宅投資が低迷しましたが、後半は駆け込み需要の反動減が徐々に緩和されたことに加え、円安による輸出の持ち直しや企業収益の改善などから、緩やかな回復基調が続きました。一方で、円安進行による輸入原材料の価格高騰が継続し、輸入企業の利益圧迫や価格転嫁の動きが見られました。

建材市場におきましては、消費税率引上げ後の駆け込み需要の反動減などから、新設住宅着工戸数が88万戸(前年比89.2%)と大きく減少しました。アルミニウム型材及びビレット市場は、自動車等の軽量化需要などを背景に輸送、一般機械分野での需要が堅調に推移しました。商業施設市場は、コンビニエンスストアやドラッグストアの新規出店・改装需要が堅調に推移しました。

このような状況下、『さらなる成長と新たな価値創造』を基本方針とする中期経営計画の目標達成に向け、「改装・リフォー

ム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」への取り組みを進め、Aleris International, Inc.からのアルミニウム押出事業の譲受、Thai Metal Aluminium Co., Ltd.の子会社化など、平成23年7月に公表しましたVISION2020の達成に向けて諸施策を推進してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,923億91百万円(前連結会計年度比1.0%減)、営業利益85億41百万円(前連結会計年度比48.6%減)、経常利益79億28百万円(前連結会計年度比49.0%減)、当期純利益59億49百万円(前連結会計年度比53.1%減)となりました。

当社は、グループ全体の経営基盤の強化と収益力向上によって、継続的な企業価値の向上を図り、株主の皆様のご期待に応えてまいりたいと考えております。

配当につきましては、業績状況や内部留保の充実などを勘案した上で、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。当期末は1株につき20円の配当とさせていただきます。

今後の見通し

今後の見通しとしましては、個人消費の緩やかな回復などにより、景気は底堅く推移するものと思われそうですが、円安による輸入原材料価格の高止まりは今後も継続することが見込まれます。

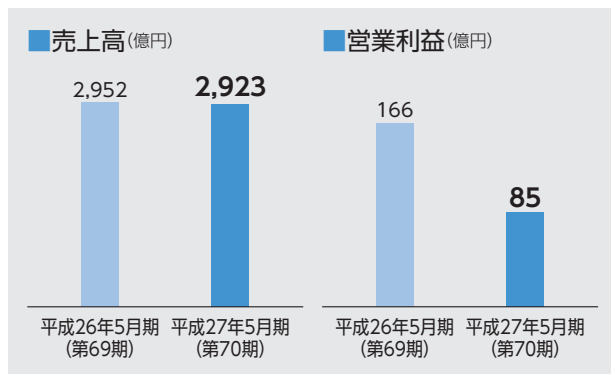
建材市場につきましては、平成27年度の新設住宅着工戸数は89万戸(前年比101.0%)、非木造建築着工床面積は約78百万㎡(前年比99.0%)と概ね前期並みで推移するものと想定しております。アルミニウム型材及びビレットの国内市場では、設備投資の増加基調や円安により輸送、一般機械分野での輸出製品を中心に堅調な需要が見込まれます。商業施設市場では、コンビニエンスストア、ドラッグストアなど専門量販

店の出店需要、小売業の再編、経営統合の動きに伴う改装需要が見込まれます。また、海外市場につきましては、ASEANなど新興国を中心に高い経済成長率での推移が見込まれるとともに、輸送分野などアルミ化需要の増大を背景に関連メーカーの生産量増加が見込まれます。

このような状況を見据え、今般、市況の動向や当社の海外事業展開を踏まえてVISION2020の見直しを図るとともに、次期3ヵ年(平成28年5月期～平成30年5月期)の新中期経営計画を策定しました。目標達成に向け、既存事業の拡大とともに「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」に向け、グループ総合力の発揮、市況変化に柔軟に対応する強固な事業体制の構築を引き続き推進してまいります。

創業の原点である「お客様・地域社会・社員」の三者が協力し共栄するという協業の精神を当社グループ全体が認識し、お客様に喜びと満足を提供する企業活動を展開することで、引き続きグループ企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

お客様・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

行動指針

私たちは

お客様
満足

① 常にお客様の視点に立ち、誠実に対応することで、信頼される存在であり続けます。

価値
創造

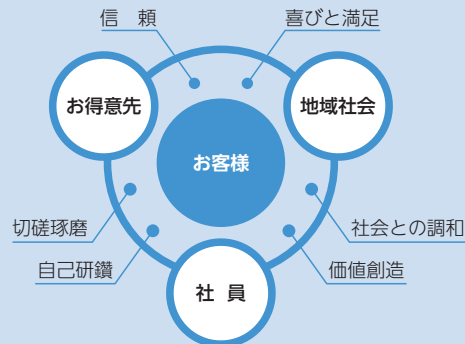
② 技術と知識の向上に努め、新たな製品の開発とサービスの提供にたゆまず挑戦し続けます。

社会との
調和

③ 環境、地域社会、人との調和を考えて行動し、人と自然にやさしい企業であり続けます。

自己
研鑽

④ 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し、働き甲斐のある企業風土を育みます。



CSポリシー

- お客様満足を第一とし、“常にお客様の立場・視点で考え行動”しよう。
- お客様の意見に耳を傾け、“期待や問題点をしっかりと把握”しよう。
- お客様の満足実現に向け、“創意・工夫で改善、提案”しよう。
- お客様の“満足こそが仕事の成果”であると心がけよう。
- お客様の満足を、“共にわかち合えることに感謝”しよう。

新VISION2020の実現に向け、新中期経営計画がスタート

当社グループは、2020年に向けて掲げたVISION2020の目標達成に向け、前中期経営計画にて成長戦略への諸施策を推進してまいりました。

今般の市況や市場の動向、当社の海外事業展開を踏まえ、VISION2020に掲げたグループの方向性は変更せず、2020年の目標値を改定いたしました。

この新たな目標の達成に向け、「国内事業の収益体制強化と成長戦略の実現」を基本方針とした次期3ヵ年(2016年5月期～2018年5月期)の新中期経営計画を策定し、2015年6月にスタートいたしました。

「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」の3つの経営戦略の目標達成に向け、グループの総力を発揮し、環境の変化に柔軟に対応する強固な事業体制の構築を引き続き推進してまいります。

VISION2020

Life with Green Technology

「環境技術でひらく、豊かな暮らし」を実現する企業グループへ

新しい価値創造に挑み、
地球環境と人々の暮らしの質向上に貢献する。

日本で培った技術をベースとし、
グローバルな事業展開を図る。

事業活動での環境調和をより進め、
継続して社会に貢献する。

■ 中期経営計画基本方針 (ST71～ST73期)

国内事業の収益体制強化と成長戦略の実現

売上高 2,923億円
営業利益(率) 85億円(2.9%)
自己資本比率 30.8%
配当 35円

ST70期
実績

売上高 3,850億円
●国内 3,200億円
●海外 650億円
営業利益(率) 130億円(3.4%)
自己資本比率 35%以上
配当方針 安定配当

ST73期
目標

売上高 4,000億円以上
営業利益(率) 160億円(4.0%)

ST75期
目標

更なる成長と新たな価値創造

- 1) 非建材事業が成長、収益力がアップ
- 2) 海外展開への基盤を整備
- 3) 外部環境への柔軟な対応が不足

国内事業の収益体制強化と成長戦略の実現

- 1) 国内市場縮小に対応する効率的な体制構築と収益の確保
- 2) VISION2020の目標達成に必要な今中期での施策立案と実施
- 3) 海外事業展開に向けた基盤整備とシナジーの創出

VISION2020以降を 見据えた 新たな基盤構築

HD7期
2009.6

ST70期
2015.5

ST71期
2015.6

ST73期
2018.5

ST74期
2018.6

ST75期
2020.5

<為替想定> 120円/ドル 130円/ユーロ 3.7円/バーツ 19.5円/元 2.6円/ペソ

■ 新 VISION2020 グループが向かう方向性に変更なし。前期までの実績、今後の動向を踏まえ、目標を改定する。

【経営指標】	旧目標	新目標
グループ売上高	3,500億円	4,000億円以上
営業利益	6.0% (210億円)	160億円 (4.0%)

※比率は営業利益率

【戦略指標】	旧目標	新目標
改装・リフォーム事業の強化	建材売上比率 40%以上	建材売上比率 30%以上 ※建材事業セグメント売上比率
非建材事業の強化 (マテリアル事業・商業施設事業)	売上比率40%以上 ※カンパニー売上合計比率	売上比率40%以上 ※グループ連結売上比率
海外展開	10%以上 ※グループ連結売上比率	20%以上 ※グループ連結売上比率

■ 中期経営計画目標数値

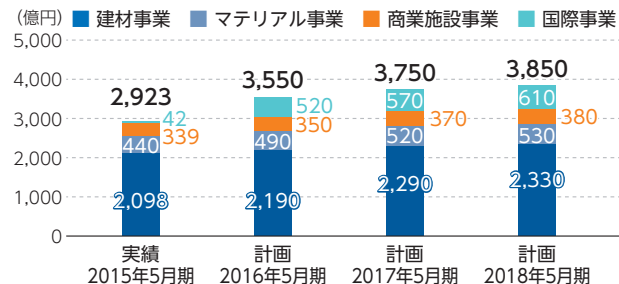
【経営指標】	2015年5月期 実績	2018年5月期 目標
売上高	2,923億円	3,850億円
営業利益 (率)	85億円 (2.9%)	130億円 (3.4%)
自己資本比率	30.8%	35%以上
配当方針	安定配当	安定配当
ROA(純利益ベース)	2.2%	2.7%
ROE(純利益ベース)	7.1%	7.5%

【2020年戦略指標】	2015年5月期 実績	2020年5月期 目標
改装・リフォーム事業の強化	21%	30%以上
非建材事業の強化	28%	40%以上
海外展開	3%	20%以上

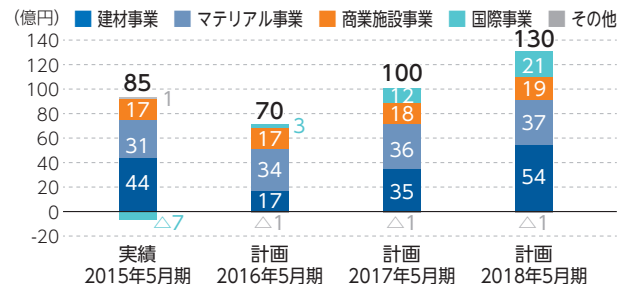
※改装・リフォーム事業の強化の目標は、建材事業セグメント売上に対する比率
※非建材事業の強化、海外展開の目標は、グループ連結売上に対する比率

■ 中期経営計画業績目標 (セグメント別)

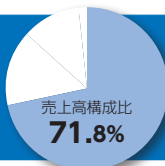
【売上高】



【営業利益】



建材事業



多様なニーズに最新技術でお応えするビル建材と「省エネ・バリアフリー・高耐久」を考慮した住宅建材、そして最新のデザインと高い品質を追求したエクステリア建材の提供を通じて豊かな暮らしの実現に貢献いたします。

三協アルミ



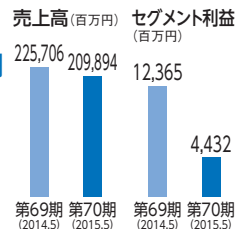
売上高

2,098億94百万円
(対前年同期比7.0%減)



セグメント利益

44億32百万円
(対前年同期比64.2%減)



建材事業は、販売網の強化、リフォーム需要の取り込み、首都圏ショールーム開設による販売推進強化などを推し進めましたが、新設住宅着工戸数の減少、アルミ地金価格の高騰、競争激化などにより、売上高 2,098億 94百万円 (前年同期比7.0%減)、セグメント利益(営業利益)は 44億 32百万円(前年同期比64.2%減)となりました。

ビル建材・STER

ビル建材事業では、規格品として国内最高レベルの水密性を実現した新カーテンウォール「NL-R」に自然換気システムを組み込んだ「NL-R NAV」を追加発売するなど、強みである環境配慮型商品をはじめ、アルミ手すり等の新商品の市場投入に注力してまいりました。

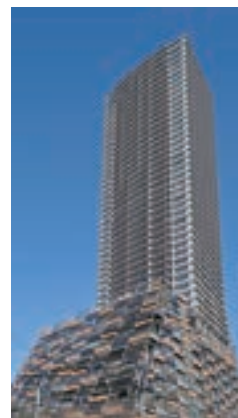
改装・環境分野のSTER事業では、お客様に満足されるリフォーム事業を目指し、販売体制の強化を図るとともに、住居改修や一般改修、学校改修の取り込みに注力してまいりました。



三協立山ソーラー



スウィンドウ



キャブコン

住宅建材

住宅建材事業では、リフォームネットワーク「一新助家」加盟店向けの研修会やキャンペーンの実施、新規会員の獲得など、リフォーム体制強化に向けた取り組みに注力してまいりました。

また、業界初となる「断熱性能と採風機能」を併せ持つ断熱玄関ドア「プロセレーネK2仕様採風タイプ」の市場投入をはじめ、首都圏ショールームの活用による関東圏での需要の取り込みに注力してまいりました。

さらに、本年10月発売(予定)の新アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ(ALGEO)」のプレス発表会や代理店向け内覧会など、新基幹サッシの市場投入に向けたPR活動にも積極的に取り組んでまいりました。



Sフロア(水まわり対応品)



断熱玄関ドア
「プロセレーネK2仕様採風タイプ」



新アルミ樹脂複合サッシ
「アルジオ(ALGEO)」

エクステリア建材

エクステリア建材事業では、流通向けの商品・施工研修会をはじめ、各種セールやキャンペーンの実施など、販売支援体制の強化に注力してまいりました。

また、2013年春よりスタートした5組の建築家とのコラボレーション事業「SACLAB」から生まれた

「S.ボーダーシリーズ」の第2弾「airblock」の市場投入をはじめ、表面に陰影感があり見る角度によって印象が変わる新感覚の高級門扉「リフレア」など、他社との差別化商品の拡販に注力いたしました。さらに、家の躯体に穴をあけずにガーデンルームやテラスなどを取り付け可能な「独立フレーム」など、独立商品の品揃えを強化し、2015年を「独立元年」と名づけてPRするなど、エクステリアリフォームの需要獲得に向けた取り組みにも注力いたしました。



高級門扉「リフレア」



S.ボーダーシリーズ「airblock」



独立フレーム「ガーデンルーム・ハビーナ用」

セグメント別の概況

マテリアル事業

売上高構成比
15.1%

無限の可能性を秘めたアルミニウムやマグネシウムなど、次世代のマテリアルを提供しています。

マテリアル事業では、輸送、一般機械分野での堅調な需要の取り込みに注力するとともに、新たに加わった国内、海外拠点の連携強化や高付加価値製品の販売比率向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高440億77百万円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益（営業利益）は31億60百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

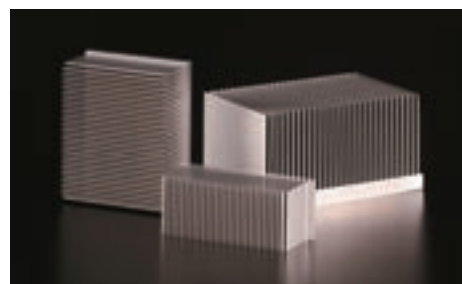
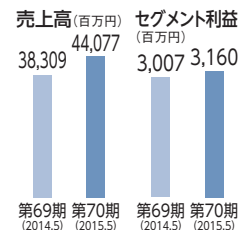


風力発電機用ブレード
（富山市ファミリーパーク内）

三協マテリアル

売上高
440億77百万円
（対前年同期比15.1%増）

セグメント利益
31億60百万円
（対前年同期比5.1%増）



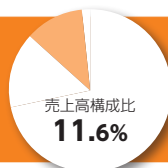
ヒートシンク



アルミニウム・マグネシウム
鍛造ホイール素材

※写真はアルミニウム製ホイール
株式会社TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY様提供

商業施設事業



ショッピングセンター等の商業施設や、店舗用の陳列機器類、看板・サイン等の屋外広告物の設計・製作・施工およびメンテナンスを提供しています。

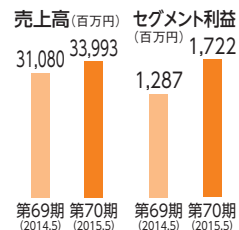
タテヤマアドバンス



売上高
339億93百万円
(対前年同期比9.4%増)



セグメント利益
17億22百万円
(対前年同期比33.8%増)



商業施設事業では、コンビニエンスストアやドラッグストアなどの新規出店や改装需要を積極的に取り込んでまいりました。

また、海外においては、中国(上海)の製造・販売拠点を中心に、現地に進出している日系小売業や現地資本の小売業および豪州小売業などへの販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高339億93百万円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益(営業利益)は17億22百万円(前年同期比33.8%増)となりました。



外照式サイン用LED電装ユニット「アドビュー」



店舗用陳列什器「タテヤマゴンドラ」



アルミショーケース「ルミグラス」

セグメント別の概況

国際事業

売上高構成比
1.4%

欧州・中国・タイにある海外拠点において、アルミニウムの鋳造・押出・加工を行い、高付加価値製品を提供しております。

※国際事業は当連結会計年度から追加した新セグメントです。

国際事業は、VISION2020で掲げる成長戦略「海外展開」の目標達成に向けた取り組みに注力してまいりました。

具体的には、2015年3月にアリス社 (Aleris International, Inc.) のアルミニウム押出事業 (生産拠点：ドイツ3カ所、ベルギーと中国に各1カ所) を譲受し、STEP-G (ST Extruded Products Group) という名称でスタートいたしました。また、同月、タイ国内でアルミニウムビレットの製造から押出、加工までを行うタイメタルアルミニウム (Thai Metal Aluminium Co., Ltd.) を子会社化いたしました。

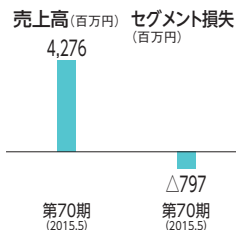
これにより、欧州やASEAN地域を中心とした海外における事業展開基盤の確立、事業領域の拡大に向けた体制を整備いたしました。

以上の結果、売上高42億76百万円となりましたが、欧州・中国でのアルミニウム押出事業の譲受、タイでの子会社取得に伴う費用の発生などにより、セグメント損失(営業損失)は7億97百万円(前年同期は10百万円の損失)となりました。

※なお、当連結会計年度に取得した海外の子会社については、2015年3月分の売上高、利益を基に記載しております。

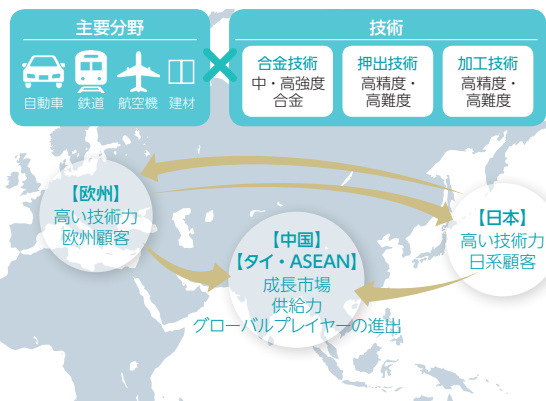
売上高
42億76百万円
セグメント損失
7億97百万円

※対象期間は1ヵ月 (2015年5月) のみ



Global Synergy

- グループが保有する技術、ノウハウをグローバルに展開
 ➡欧州・日本の**ハイレベルな技術**をASEAN地域へ**移植し**、**高付加価値**を追求
- グローバルサプライヤー**として製品の供給地域を拡大
 ➡欧州・日系の**グローバルプレイヤー**への製品供給地域・品目を拡大



2015年3月欧州、中国、タイに新たに海外拠点が増えました

STEP-G、Thai Metal Aluminium



ST Extruded
Products Group

- 2015年3月1日 米Aleris社より押出事業譲受
- ドイツ、ベルギー、中国に計5工場を有するアルミニウム押出、加工グループ
- 高度な技術を有し、主に航空機、鉄道、自動車分野向けの製品を製造
- 従業員数 約900名、売上高 約370億円



Thai Metal Aluminium

- 2015年3月2日 子会社化
- タイ Samutprakarn県に拠点を置くアルミニウム鋳造、押出、加工メーカー
- 建材向けアルミニウム型材のほか、自動車、電気製品向け部品など幅広い分野に製品を供給
- 従業員数 約900名、売上高 約95億円

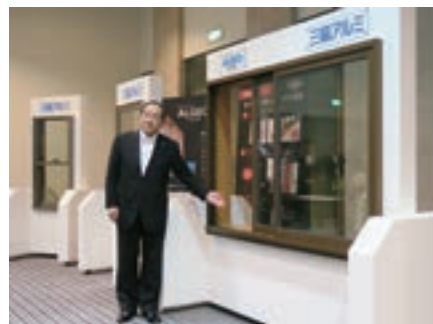


新たな海外子会社の基盤整備とシナジー創出に注力することでグループ総合力の発揮を目指してまいります。

TOPICS

新 アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ (ALGEO)」 10月発売(予定)

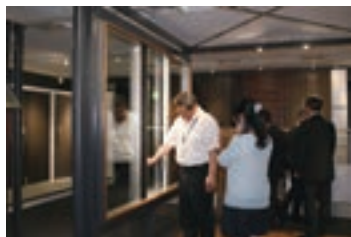
平成27年6月22日、TEPIAホール（東京都港区北青山）にて、新アルミ樹脂複合サッシ「アルジオ」のプレス発表会を行いました。また、全国で代理店様向けの「新商品アルジオ体感会」を開催し、高い断熱性とワンランクアップした耐風圧、耐水密性に加え、使い易さやお手入れのし易さなど、住まう人への優しさを併せ持つ「アルジオ」の魅力をPR。「アルジオ」は、発売から10年のマディオシリーズに代わり、当社の基幹サッシとして今年10月に発売(予定) いたします。



「ビル専用SPC」リニューアル

平成27年2月に三協アルミ首都圏ショウルーム(住宅用／一部EXあり)を新宿にオープンしたことを受け、これまでのSPC(三協プレゼンセンター／代理店向け住宅展示施設)をビル専用SPCとしてリニューアルいたしました。

SPCでは、ARM-S@NAVやスウィンドウなどの当社商品を使った通風効果を、流通のお客様に目で見て体感いただけるよう、自然換気体感ルームなどを設置しています。



台湾のランドマーク築禾豊の外装サッシを受注

台湾の建設業界の中でも特に品質を重視している「築禾建設」が蘆洲地区に建設予定の国際的ランドマーク「築禾豊」の外装サッシを、三協アルミの現地販売会社「三協大同鋁業」が一括受注いたしました。

これを受け、平成27年5月7日、台湾の實佳グループ本社（新北市板橋區新府路1號1樓）にて、三協アルミと築禾建設（實佳グループ）による台日技術交流会および報道への共同記者会見を開催いたしました。



未来のとびら コンテスト ＜小学生版＞& ＜大学生版＞ 7月よりスタート

三協アルミは、昨年より「女性推進WG」による宣伝・販促企画に取り組んでおり、昨年夏休み期間に実施し大変好評だった、全国の小学生向け「未来のとびらコンテスト2015＜小学生版＞」を今年も7月25日よりスタートいたします。また、今年は新たな取り組みとして、7月1日～9月末まで「未来のとびらコンテスト＜大学生版＞～第1回学生デザインコンペ～」も併せて開催いたします。

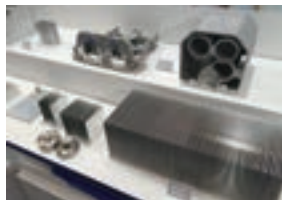


©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK



第2回高機能金属展 ～メタルジャパン～に出展

平成27年4月6日～8日、東京ビッグサイトにて開催された第2回高機能金属展に、三協マテリアルが技術開発事例、各種加工品、アルミパレットなどを出展しました。同展は、鉄・アルミ・銅をはじめ、レアメタル・チタン・マグネシウムなど注目の最先端素材に関する技術や製品が集結する展示会です。同時開催の4展示会と合わせて3日間で約58,000人の来場者で賑わいました。



エクステリア春の 新商品展示会開催

平成27年4月～6月にかけて、静岡、長野、東京、名古屋、福岡、仙台、大阪の7会場で『「Good Surprise!」くらし発見、ワクワク。』をテーマに、エクステリア春の新商品展示会を開催いたしました。今年は、7会場で4会場において、メイン商品の「独立商品ブース」と「カーポート&材門扉リフレアブース」を順にライブ中継する「見どころライブショー」など趣向を凝らしたイベントも行い、会場は多くの来場者で賑わいました。



「ツインリーフの森づくり」 ～根踏み活動を実施～

平成27年4月26日、とやま・ふくおか家族旅行村にて、ツインリーフの森づくりの第6回目となる活動を行いました。当日は、当社従業員とその家族のボランティアが集まり、一昨年と昨年11月に植樹したコナラや栗などの苗木と竹支柱を紐でしばり、根元を踏みしめる根踏みを行いました。本活動は平成25年4月にスタートし、10年間で約2,500本の苗木育成を目指しています。

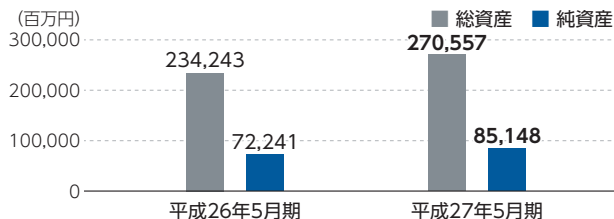


連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 平成27年5月31日現在	前 期 平成26年5月31日現在
資産の部		
流動資産	135,306	123,612
現金及び預金	30,901	27,589
受取手形及び売掛金	58,389	59,823
有価証券	—	3,799
商品及び製品	13,269	11,690
仕掛品	18,046	13,743
原材料及び貯蔵品	9,860	3,885
繰延税金資産	1,761	3,051
その他	5,727	3,832
貸倒引当金	△2,650	△3,805
固定資産	135,250	110,630
有形固定資産	104,075	93,193
無形固定資産	10,965	1,770
投資その他の資産	20,209	15,667
資産合計	270,557	234,243
負債の部		
流動負債	135,902	113,055
支払手形及び買掛金	58,368	51,584
短期借入金	38,628	19,404
その他	38,906	42,066
固定負債	49,505	48,945
長期借入金	18,442	23,083
その他	31,062	25,861
負債合計	185,408	162,001
純資産の部		
株主資本	78,623	74,487
その他の包括利益累計額	4,747	△3,264
少数株主持分	1,777	1,019
純資産合計	85,148	72,241
負債純資産合計	270,557	234,243



連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 平成26年6月1日～ 平成27年5月31日	前 期 平成25年6月1日～ 平成26年5月31日
売上高	292,391	295,236
売上原価	225,253	219,425
売上総利益	67,138	75,810
販売費及び一般管理費	58,596	59,197
営業利益	8,541	16,613
営業外収益	1,896	1,630
営業外費用	2,509	2,690
経常利益	7,928	15,553
特別利益	634	292
特別損失	686	2,318
税金等調整前当期純利益	7,876	13,528
法人税等	1,759	586
少数株主損益調整前当期純利益	6,116	12,942
少数株主利益	166	243
当期純利益	5,949	12,698

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 平成26年6月1日～ 平成27年5月31日	前 期 平成25年6月1日～ 平成26年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,261	22,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,120	△6,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,945	△8,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△886	6,746
現金及び現金同等物の期首残高	30,737	23,990
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	260	—
現金及び現金同等物の期末残高	30,111	30,737

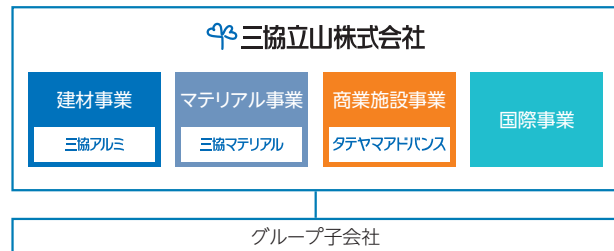
会社概要

会 社 名 三協立山株式会社
 所 在 地 〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
 設 立 昭和35年6月20日
 資 本 金 150億円
 従 業 員 数 5,707名
 U R L <http://www.st-grp.co.jp/>

取締役および監査役 (平成27年8月27日現在)

代表取締役社長	山 下 清 胤
代表取締役副社長	蒲 原 彰 三
常務取締役	岡 本 誠
常務取締役	庄 司 美 次
常務取締役	山 田 浩 司
取締役	中 野 敬 司
取締役	阿 見 秀 一
取締役	平 能 正 三
取締役	黒 崎 聡
取締役 監査等委員 (常勤)	三 村 伸 昭
社外取締役 監査等委員 (常勤)	野 崎 博 見
取締役 監査等委員 (常勤)	佐 野 孝 司
社外取締役 監査等委員	角 木 完 太 郎
社外取締役 監査等委員	荒 木 二 郎

事業セグメント



株式の状況

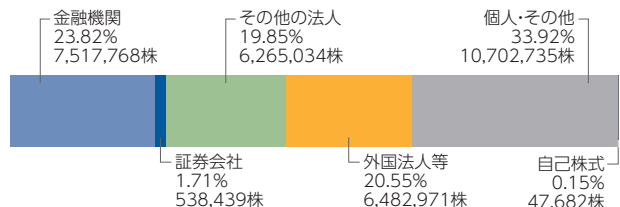
発行可能株式総数…………… 150,000,000株
 発行済株式の総数…………… 31,554,629株
 株主数…………… 22,492名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 出資比率	
	千株	%
住友化学株式会社	2,235	7.09
三協立山社員持株会	1,134	3.60
三井住友信託銀行株式会社	971	3.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	950	3.02
三協立山持株会	917	2.91
株式会社北陸銀行	888	2.82
ST持株会	857	2.72
第一生命保険株式会社	445	1.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	440	1.40
住友林業株式会社	437	1.39

(注) 出資比率は自己株式47,682株を除いて算出しております。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ ■

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日
 定時株主総会 8月
 基準日 定時株主総会 5月31日
 期末配当 5月31日
 中間配当 11月30日

上場証券取引所 東京
 公告方法 電子公告 (<http://www.st-grp.co.jp/>)
 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 事務取扱場所
 <郵便物送付先> 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 <電話照会先> ☎ 0120-782-031
 <インターネットホームページURL> <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株式に関する住所変更等のお届出および ご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取請求および 買増請求の取扱い

単元（100株）未満の株式の買取請求および買増請求は、その単元未満株式が記録されている口座の口座管理機関までお問合せください。

ホームページのご案内



詳細な財務情報やニュースリリース等は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.st-grp.co.jp/>

三協立山

検索

今後のIRスケジュール

2015年
10月上旬

平成28年5月期
第1四半期決算発表

2016年
1月上旬

平成28年5月期
第2四半期決算発表

2016年
2月上旬

平成28年5月期
中間報告書発送

 三協立山株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70番地
 TEL 0766-20-2101

UD
FONT



この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。